

欧州紀行(6) ハンザ都市ベルゲンの船

2023-6-19 池田良穂

サウサンプトンを発った「アンセム・オブ・ザ・シーズ」の最初の寄港地がノルウェーのベルゲンでした。ベルゲンフィヨルドの奥深くに位置し、ハンザ都市としても有名な海事都市で、オスロに次ぐノルウェー第2の都市です。

4度目の訪問ですが、うち2回はオスロからの夜行列車で入り、船で入ったのはソ連客船「オデッサ」でのクルーズに次ぐ2回目です。市の中心地から少し離れた新しい港に大型クルーズ客船用岸壁が造られていましたが、基本的には大型カーフェリー埠頭の一面を整備した簡素な施設で、ターミナルビルもありませんでした。ただ、専用の陸電施設が整備され、停泊中の発電機からの排ガスをなくしていました。ノルウェーは、電力の95%は水力発電なので、陸電を使えばCO2排出をほぼゼロに近くできます。

徒歩30分ほどで、色とりどりの建物が並び、魚市なども開かれる旧港に到着できました。ここは、小型のクルーズ客船、フィヨルド内定期高速旅客船、フィヨルド観光船、漁船、ヨットなど様々な船で賑わう、船好きにとっては楽しい港です。



ベルゲンの大型クルーズ客船用埠頭に着岸した「アンセム・オブ・ザ・シーズ」。細長い岸壁を整備しただけの簡易な埠頭でした。



色とりどりの建物が並ぶ旧港の一画。現在は観光地区になり、プレジャーボートなどが繋がっていました。



1913年建造の貨客船「Stord I」は保存船として整備されているようです。



1947年建造の客船 MIDTHORDLAND は、今でも現役のようです。



ドイツ人専用のクルーズを行う「アイダ・アウラ」とノルウェー海軍のフリゲート艦のシーツョットです。



ノルウェーのフリゲート F361 です。



ベルゲン港内の渡船です。屋根にライフラフトのカプセルを積んでいるようです。



フィヨルドと市街観光のための遊覧船です。



ベルゲンフィヨルド内の定期航路に就航する高速旅客船「NJORD」。最高速度は 27 ノットとのことです。



港内には様々なプライベートヨットが停泊していました。



プライベートヨットPI(π)。全長 77m のスーパーヨットです。



ノルウェーの沿岸漁船のようで、市場に魚を提供しているようでした。



オーシャン・アドベンチャー・トラベルの運航する小型クルーズ客船のようですが、詳細は不明です。この船も入れるとベルゲンに入っていたクルーズ客船は3隻になります。